

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 社会福祉課
 担当名: 総務・社会福祉担当
 内線: 3213

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|--|-------------|---------|--------------|--|-----|-------|--------------------------|-------------|-------------|
| B5 | 生活福祉資金貸付促進費 | | | 一般会計 | 民生費 | 社会福祉費 | 社会福祉総務費 | 生活福祉資金貸付促進費 | |
| 事業期間 | 昭和30年度～ | 根拠法令 | 生活福祉資金貸付制度要綱 | | | 戦略項目 | | | |
| | | | | | | 分野施策 | 050301 支え合いで輝く豊かな地域社会の形成 | | |
| 1 事業概要 埼玉県社会福祉協議会では、低所得世帯、障害者世帯及び高齢者世帯を対象に低利な貸付と相談支援を行う生活福祉資金貸付事業を実施している。制度の円滑な運営を図るため、この事業に要する費用を助成する。 (1) 生活福祉資金貸付促進費 増額 105,344千円 (内訳) 生活福祉資金原資補助に伴う増額 103,351千円 生活福祉資金業務システム改修経費補助に伴う増額 13,373千円 県社協相談体制整備費の減額 2,463千円 市町村社協相談体制整備費の減額 8,917千円 | | | | 5 事業説明 (1) 事業内容 ア 県社会福祉協議会事務費 生活福祉資金の貸付に要する人件費や事務費の助成 41,566千円 イ 市町村社会福祉協議会事務費 生活福祉資金の貸付相談等に要する事務費の助成 7,145千円 ウ 民生委員実費弁償費 生活福祉資金に関する相談支援に要する費用の助成 25,133千円 エ 債権管理強化推進事業費 生活福祉資金の債権管理に要する費用の助成 1,110千円 オ 県社会福祉協議会相談体制整備費 県社会福祉協議会の相談支援体制整備費用の助成 41,320千円 カ 市町村社会福祉協議会相談体制整備費 市町村相談員の配置に要する費用の助成 215,620千円 キ 臨時特例つなぎ資金の積み増し 原資の積み増し 25,000千円 (2) 事業実績(見込み) ア 県社会福祉協議会事務費 (当初) 41,566千円 イ 市町村社会福祉協議会事務費 (当初) 7,145千円 ウ 民生委員実費弁償費 (当初) 25,133千円 エ 債権管理強化推進事業費 (当初) 1,110千円 オ 県社会福祉協議会相談体制整備費 (当初) 41,320千円 (補正後) 38,857千円(補正額) 2,463千円 カ 市町村社会福祉協議会相談体制整備費 (当初) 215,620千円 (補正後) 206,703千円(補正額) 8,917千円 キ 臨時特例つなぎ資金の積み増し (当初) 25,000千円 (3) 補正の理由(金額) 生活福祉資金原資の補助 市町村社協事務費分としての原資の増額 (補正額) + 103,351千円 生活福祉資金業務システム改修経費の補助(県社会福祉協議会事務費の増額) 生活困窮者自立支援制度施行に伴うシステム改修(補正額) + 13,373千円 県社協相談体制整備費 県社協人件費の不用額発生に伴う減額 (補正額) 2,463千円 市町村社協相談体制整備費 市町村社協人件費の不用額発生に伴う減額 (補正額) 8,917千円 | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 事業者0 基金100% | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 地方交付税単位費用算定あり (細目) 社会福祉事業費 (細節) 社会福祉事業指導啓発費 (経費区分) 負担金、補助金及び交付金 | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費: 9,500千円 × 0.5人 = 4,750千円 | | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| | | 国庫支出金 | 繰入金 | | | | | | |
| 決定額 | 105,344 | | 105,344 | | | | | 462,238 | |
| 現計額 | 356,894 | 37,477 | 281,940 | | | | 37,477 | | |